

細江カトリック教会だより 6月

〒750-0016 下関市細江町1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

私たちを生かすパン

今年は6月に入るとすぐ聖霊降臨祭で、復活節が終わり、典礼の色は平日の緑にもどります。これからどんどん暑くなって、本格的な夏を迎えることでしょう。お年寄りや体の不自由な方には厳しい季節です。

そのような汗と息切れの日常の中で、励ましになるのは「キリストの聖体」の祝日（聖霊降臨祭の二週間後の主日で今年は6月18日）です。

「私は天からくだってきた生きるパンです。このパンを食べるなら、その人は永遠へと生きるでしょう」（ヨハネ6・51）。この主の言葉を伝えるヨハネ福音書の共同体は、ミサの中で分かちあうこのパンから、迫害や内部の分裂などの困難の中にも希望と力をいただきました。

ご聖体は、主イエスが私たちに残してくださった最大の贈り物です。ミサを祝うたびに、主はいのちの糧としてご自身を差し出してくださっています。このパンは私たちの罪を清め、疲れた心と体を強め、愛を再び燃えたたせてくださいます。

そして、パウロが述べているように、「パンは一つだから、私たちは大勢でも一つの体です。皆が一つのパンを分けて食べるからです」（1コリント10・17）。このパンをいただく者は一つに結

ばれ、「キリストの体」とされます。

ちなみに、ミサを祝うときに用いるパンには、今は薄く焼かれた小さいホスチアが参加者の数だけ用意されるのですが、昔は一つの大きなパンを使ったようです。聖体拝領のときに皆に分けるのに時間がかかったから、司祭がパンを切っているあいだ会衆は、「神の小羊、世の罪を除きたもう主よ」の連願を歌い続けました。儀式上の困難から今のように変わったとはいえ、一つのパンを皆で分かちあうという意味を表わすには、よりふさわしい形でした。

パンの形態の中に主が臨在することを信じられないと言う人もいれば、逆にその信仰に慣れきってしまって、当然のように形式的に拝領する人もいるかもしれません。しかし、私

たち弱い人間には、ただ理念的にだけ信仰することがむずかしいから、主ははっきりと目に見え、手に取ることのできる形でご自身の臨在を保証してくださったのでしょう。

主イエスがくださったすばらしい贈り物を大切にしたいと思います。教会の伝統で「旅路の糧」と言われるように、これは人生の旅路で疲れたとき、新たな力をいただき、希望をもって歩み続けることができるための、またとない、ありがたいパンです。

百瀬 文晃 神父



地区だより III

新地筋川地区

ふと、タンスの上に目をやると使徒パウロの旅写真集に目がとまり、パウロの旅する姿に想いをはせました。パウロは喜んでどんな困難にも主に従い、イエス様を今の私たちに伝えてくださった方です。

「兄弟たち、主において常に喜びなさい。どんな事でも思いわずらうのはやめなさい。・・・何事につけ感謝を込めて祈りと願いを捧げ、求めているものを神に打ち明けなさい」(フィリピ 4・4・6)

私は写真とみことばを見て、祈らずにはいられませんでした。私たちがどれほど神様に愛されているか、私の心がどんなに鈍くなっているか思い知らされました。

これから、私は地区の皆さんと一緒に祈り、いろんなことに共にチャレンジし、働いていきたいと思えます。もちろん神様に助けられて。神に感謝！

大水 三代



乙女峠祭り5/3(水)

* 乙女峠マリア聖堂



ここ数年、お天気に恵まれなかった巡礼も、今年は晴天に恵まれ、爽やかな風と共に出発することができました。

津和野教会から乙女峠まで(ロザリオの祈り・聖歌)で行列。若葉で覆われた殉教地での野外ミサは、鹿児島教区の郡山司教様が司式。前田司教様、白浜司教様もご一緒です。

お話の中で、「自分自身がどう生きていくか! “自分を顧み、悔い改める” “アーメン” という言葉が最も大切です。イエズス様の姿、殉教者の信仰を見ましよう」と教え導かれ、励ましと祝福をたくさん受けました。

今年は、浦上四番崩れ150周年。殉教者のキリスト教を守り続けた生き方を思い起こし、私たちも日々の生活の中で努力したいと改めて思います。

来年は、津和野へ流配された153名の150周年に当たります。年に一度でも信仰生活を顧みるよい機会になるために、参加したいものですね。

帰路の車中は、喜びの笑顔が疲れ以上に溢れておりました。

中央地区 M. Y



* 津和野教会を出発し、乙女峠の参道をつつて殉教者が登った道をたどり、祈りながら歩きます。



力障連 総会 5/13 (土) 宇部

宇部教会での力障連の総会に出席いたしました。昨夜の強い雨、風はどこへ？当日は五月晴れの、とても良いお天気に恵まれました。足の不自由な方や車椅子の方が、ゆっくりと車から降りてこられるのを見て、感謝でした。

白浜司教さまがご出席され、ミサの中での講話がありました。

「教会へのチャレンジの三つの使命に、この力障連もどのようにチャレンジするのか、総会で祈り、語り、さらに信仰と愛と希望のうちに歩んで行きましょう。祈りましょう」と、呼びかけられました。

講話の中で、三人の学者の贈り物のお話をされました。「黄金」にかわる日々の愛の行い。「乳香」にかわる日々の祈り。「没薬」にかわる日々の苦しみ…この贈り物を私たちが実行すれば、イエス様が喜んでくださるでしょう。今年の教会へのチャレンジにも繋がっていると思いました。

午後からは、自己紹介と、それぞれ背負っているものや、司教様の講話の中で感動したお話などを分かち合いました。

10月の例会は、長府教会で開催されます。皆さん、またお会いできるのを確認しつつ、終わりました。

岸下 邦子

**投稿 詩****貴女へ…13才の少女二人へ**

あれから私たちは違う道を歩いた。
夢おいびとのような
私はあなたのことを
どれだけわかってあげていたかな。
彼女も私のことを
どれだけわかってきていたのだろう。
ただ言えるのは二人とも半世紀以上、
違った道でも平和を考え、願い、活動し、
祈り生きてきた二人だけ、
13才だった二人は
再会するだけで少女のままだったよ。
いろいろな事を二人に神さまはくださると思うけど、おたがいに何でも聞きあおうね。

FUJIMOTO, YUKIE

**教会建替え委員会の報告**

教会のイメージについて、さまざまな意見を取り入れ、概ねの構想はできました。進入路として幼稚園側の隣接地の売買交渉は難航していました。現行の土地内での建設の概略設計を業者に依頼することを、模索しているところでした。…(今は暫く待てという、神さまからの意志かもしれません??)

現在は、地権者との交渉において少し進展し、これが解決すれば敷地や建物の概略設計を具体的に進めることができます。

一步一步前に向かって進もうとしていますので、皆さまのご協力とお祈りをお願いします

近藤 豊之

幼稚園の話題



* 天使幼稚園の園児たちが作成した絵を、鱗のように貼り付けて、可愛い鯉のぼりができました。シーモールの空を元気よく泳いでいました。

お願い

* 6/24(土)9:00~11:00
幼稚園の園庭と周辺の清掃があります。
信徒の皆さまのご協力をお願いします。



行事の案内

- * 6月10日(土) 10:30~16:00
信者養成講座「キリストを学ぶ」
- * 6月11日(日) 祈りのリレー
- * 6月13日(火) 19:00~
下関ブロック委員会
- * 6月17日(土) 10:30~12:00
キリスト教入門講座
- * 6月18日(日) 9:00~
「社会教説」講師; 中井淳神父
- * 6月19日(月) 9:30~
常任委員会
- * 6月24日(土) 10:30~12:00
キリスト教入門講座
- * 6月26日(月) 19:00
広報委員会

震災のための祈りのリレー
~震災後75ヶ月目を迎えて~
6月11日(日)細江教会

After 3.11

11時のミサ後~17:00 個人の祈り
17:00~夕の祈り(テゼの祈り)

* 聖堂に来られない方は「聖堂外」でその時間を決めていただき、自由な場所でお祈りください。病床でも、居間でも、学校でも、職場でも、お気軽にご参加ください。祈りの形式はとくに決めていません。



社会教説 学習会 6/18(日)
9:00~(教会ホール)

「東アジアの和解と平和における
日本カトリック教会の使命」
講師; 中井淳神父

中井神父さまが韓国で得た洞察とビジョンの体験を通してのお話・・・



編集後記

先日、職員旅行で五島巡礼に行ってきました。下五島の五輪教会を初め、白浜司教さまの出身である上五島の米山教会と司教さまの生家も訪問し、また数多くの教会を巡りました。その時のエピソードはたくさんありますので、またの機会に少しずつ小出しにすることにして・・・。

下五島の福江教会では、学校帰りの子どもたちも一緒に「マリアさまの祈り」を唱えていました。力強い子どもたちの声を聴きながら・・・さすが五島!と、感激しました。(K)